

伊豆市過疎地域持続的発展計画 新旧対照表

改正後					改正前				
I～III 略					I～III 略				
IV 地域における情報化					IV 地域における情報化				
1 現状と問題点					1 現状と問題点				
社会基盤として重要な超高速ブロードバンドの整備は、令和元年度までに市全域において完了している。					社会基盤として重要な超高速ブロードバンドの整備は、令和元年度までに市全域において完了している。				
今後は、<u>行政情報・サービスの地域間格差の是正</u>や多様化する社会に対応する<u>ための環境整備</u>や、未来を担う子どもたちを育むための情報化推進・行政サービスにおけるデジタル技術の活用等、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が求められている。					今後は、_____多様化する社会に対応する<u>教育環境を整備</u>し、未来を担う子どもたちを育むための情報化推進・行政サービスにおけるデジタル技術の活用等、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が求められている。				
2 その対策					2 その対策				
教育環境整備については、市内小・中・義務教育学校に1人1台のタブレット端末の導入・活用により、多様な子ども達の能力・資質を育成できる教育 ICT 環境を実現していく。					教育環境整備については、市内小・中・義務教育学校に1人1台のタブレット端末の導入・活用により、多様な子ども達の能力・資質を育成できる教育 ICT 環境を実現していく。				
また、行政情報・サービスについて、ICT・DX化、<u>難視聴地域の解消等を進めることにより、速やかな情報・サービスの提供及び事務の効率化推進</u>に向けて検討していく。					また、行政の<u>窓口案内</u>_____について、ICT_____化_____による<u>速やかな</u>_____サービスの提供及び事務の効率化推進に向けて検討していく。				
3 計画					3 計画				
事業計画（令和3～7年度）					事業計画（令和3～7年度）				
持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業 主体	備 考	持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業 主体	備 考
3 地域に おける情報 化	電気通信施設 等情報化のため の施設	自治体 DX 関連 事業	伊豆市		3 地域に おける情報 化	電気通信施設 等情報化のため の施設	自治体 DX 関連 事業	伊豆市	
		革新的技術活用	伊豆市				革新的技術活用	伊豆市	

改正後					改正前				
		事業					事業		
		コミュニティ FM 等難聴地域解消 事業	伊豆市						
V 交通施設の整備、交通手段の確保 1 ～ 5 略 6 計画 事業計画（令和3～7年度）					V 交通施設の整備、交通手段の確保 1 ～ 5 略 6 計画 事業計画（令和3～7年度）				
持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業 主体	備 考	持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業 主体	備 考
4 交通施設の整備、 交通手段の確保	(1)市町村道	市道改良事業	伊豆市		4 交通施設の整備、 交通手段の確保	(1)市町村道	市道改良事業	伊豆市	
		市道維持管理事業	伊豆市				市道維持管理事業	伊豆市	
		市道舗装補修事業	伊豆市				市道舗装補修事業	伊豆市	
		橋梁改修事業	伊豆市				橋梁改修事業	伊豆市	
		道路防護柵補修事業	伊豆市				道路防護柵補修事業	伊豆市	
	(2)農 道	農道維持管理事業	伊豆市			(2)農 道	農道維持管理事業	伊豆市	
		農道開設事業	伊豆市				農道開設事業	伊豆市	
		中山間総合整備事業(みらい伊豆地区)	静岡県・伊豆市						
	(3)林 道	林道維持管理事業	伊豆市			(3)林 道	林道維持管理事業	伊豆市	
		林道開設事業	伊豆市				林道開設事業	伊豆市	

改正後					改正前				
		林道土肥中央線 改良、法面改良、 舗装改良	伊豆市				林道土肥中央線 改良、法面改良、 舗装改良	伊豆市	
	(10)その他	港湾整備県営事 業負担金	静岡県			(10)その他	港湾整備県営事 業負担金	静岡県	
		公共交通ネット ワーク整備事業	伊豆市				公共交通ネット ワーク整備事業	伊豆市	
7 略					7 略				
VI～VIII 略					VI～VIII 略				
IX 教育の振興					IX 教育の振興				
1 教育施設の整備等					1 教育施設の整備等				
【現状と問題点】					【現状と問題点】				
急激な少子化による児童・生徒数の減少により、小・中・義務教育学校では、文部科学省が推奨する適正規模を大きく下回っており、複数学級あった学校でも単学級の学年が年を追うごとに増加している。更に、各学年単学級の小学校でも児童数が減少し小規模化が加速しているおり、クラス替えができず人間関係の固定化等が懸念されるなど、小規模化のデメリットが目立ち始めている。 また、中学校では教科担任制のため、学級数の減により教員の配置も減となり、各教科の免許をもった教員が不足するなど良好な教育環境とはいえなくなっている。					急激な少子化による児童・生徒数の減少により、小・中・義務教育学校では、文部科学省が推奨する適正規模を大きく下回っており、複数学級あった学校でも単学級の学年が年を追うごとに増加している。更に、各学年単学級の小学校でも児童数が減少し小規模化が加速しているおり、クラス替えができず人間関係の固定化等が懸念されるなど、小規模化のデメリットが目立ち始めている。 また、中学校では教科担任制のため、学級数の減により教員の配置も減となり、各教科の免許をもった教員が不足するなど良好な教育環境とはいえなくなっている。				
【その対策】					【その対策】				
生徒の減少、小規模化が進む小・中学校は、より良い教育環境を確保するため、修善寺・天城・中伊豆地区の<u>小・中学校再編、整備</u>に向					生徒の減少、小規模化が進む____中学校は、より良い教育環境を確保するため、修善寺・天城・中伊豆地区の____中学校再編____に向				

改正後					改正前				
けて準備を進めている。<u>なお、新中学校の整備に併せて安全・安心な通学環境の整備についても推進を図る。</u> また、ふるさとの魅力を学ぶ機会の創出（伊豆っ子宣言の活用）による総合的な学習の充実、ふるさと学級の促進を図る。 教育環境整備については、市内小・中・義務教育学校に1人1台のタブレット端末の導入・活用により、多様な子ども達の能力・資質を育成できる教育ICT環境を推進する。					けて準備を進めている。<u> </u>新中学校の整備に併せて安全・安心な通学環境の整備についても推進を図る。 また、ふるさとの魅力を学ぶ機会の創出（伊豆っ子宣言の活用）による総合的な学習の充実、ふるさと学級の促進を図る。 教育環境整備については、市内小・中・義務教育学校に1人1台のタブレット端末の導入・活用により、多様な子ども達の能力・資質を育成できる教育 ICT 環境を推進する。				
2 省略					2 省略				
3 計画					3 計画				
事業計画（令和3～7年度）					事業計画（令和3～7年度）				
持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業 主体	備 考	持続的発展 施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業 主体	備 考
8 教育の 振興	(1)学校教育 関連施設 校舎	新中学校整備 事業	伊豆市		8 教育の 振興	(1)学校教育 関連施設 校舎	新中学校整備 事業	伊豆市	
		<u>小学校再編・再 整備事業</u>	<u>伊豆市</u>				<u> </u>	<u> </u>	
	(3)集会施設、 体育施設等 図書館	図書館利用促 進事業	伊豆市			(3)集会施 設、体育施設 等 図書館	図書館利用促 進事業	伊豆市	
		集会施設整備 事業	伊豆市				集会施設整備 事業	伊豆市	
	(4)過疎地域 持続的発展特 別事業	通学費補助事 業	伊豆市			(4)過疎地域 持続的発展特 別事業	通学費補助事 業	伊豆市	
	(5)その他	通学路交通安 全対策事業	伊豆市			(5)その他	通学路交通安 全対策事業	伊豆市	